



久保

貴洋 議員  
(創政クラブ)



市道105号線の道路整備について

Q NTT東日本新合電話交換センタから寺山墓地入口までの約310メートル区間、また、旧閑馬小学校バス停付近から旧閑馬小学校北口校門付近まで約260メートルの未整備部分拡張工事について、本市の考えを伺いたい。

A 市長

現在の整備状況について、平成21年度から事業に着手し、令和2年度には寺山墓地入口付近から旧閑馬小学校前バス停までの290メートルが完了し、その後、令和5年度には主要地方道桐生田沼線の道路整備事業に関連する40メートルの整備が完了し、合わせて330メートルの整備が完了しています。未整備区間2か所の整備については、道路幅員が狭く、また、山がせり出して見通しの悪い箇所もあるので、安全確保のためにも、今後整備の必要性があるものと認識しています。

その他の質問

☆市立学校長期休業の延伸について  
☆子ども郷土愛醸成について  
☆あそ野学園義務教育学校の施設整備等について

現在事業実施中の300メートルの区間の整備完了後、順次未整備区間の拡幅工事を進めていきたいと考えています。



小倉

健一 議員  
(政友みらい)



若者を応援する二十歳のつどい(旧成人式)について

Q 二十歳のつどい(旧成人式)をほかの世代と同じように開催できなかった年代、世代がある。本市はこれからの若者をしっかりと支え、応援していくといった市の姿勢を表すためにも、この世代に対しリベンジ成人式の開催を提案するが、見解を伺いたい。

A 教育部長

本市では、令和3年3月21日に対面ではないオンライン成人式を実施しました。実施までに成人式企画運営委員会の意見を踏まえ、5つの事業を行いました。また、アンケート結果において、本市主催の式典を希望しないとの回答が約71%であったことから、世代間の公平性などの観点から、市主催で開催することは難しいものと考えています。本市としては、学校ごと、あるいは地区ごとで開催したいという自主的な開催については、若者を支え、応援する姿勢は変わりませんので、可能な限りのサポートをしたいと考えています。

その他の質問

☆災害時における孤立可能性  
集落対策について



澤田

裕之 議員  
(創政クラブ)



持続可能で安全な水道事業の運営について

Q 重要給水施設へのルート確保について、能登半島地震の教訓からも、災害拠点病院や避難所となる小中学校へつながる配水管の耐震化は最優先課題である。

今後重要施設、避難所となる学校や災害拠点病院などにつながる配水管の耐震化の推進について伺いたい。

A 上下水道局長

令和7年1月に策定しました佐野市上下水道耐震化計画において、重要施設として指定している施設は、病院、消防庁舎、市役所庁舎、地域防災計画に指定する避難所など、合計で30か所あります。今後はこれらの施設の直近の浄水場、または配水場からの最短ルートの配水管について、本計画に基づき、計画的な耐震化に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆森林環境譲与税の有効活用と森林整備の推進について  
☆激甚化する気象条件を踏まえた林野火災対策について  
☆有機フッ素化合物(PFAS)への対応と安全性確保について